

第6回 竹原市子ども・子育て会議 議事録

平成26年12月8日（月）18：30～

竹原市福社会館2階 会議室

協議事項

(1) 竹原市子ども・子育て支援事業計画素案について

- ・第3章 計画の基本的方向
- ・第5章 基本目標
- ・第6章 重点プロジェクト
- ・第7章 計画の推進に向けて

事務局 資料説明

資料1 竹原市子ども・子育て支援事業計画素案（第3章）

会長

ただいまの説明した事項について、何か質問はあるか。

竹原市子ども・子育て支援事業計画の理念の投票結果は案4「安心の子育てを、みんなで支えるまち 竹原」となった。承認いただけるか。

『承認』

事務局 資料説明

資料1 竹原市子ども・子育て支援事業計画素案（第5～7章）

A委員

仕事と生活の調和について、男性の育児休暇取得が全国的にも少ない。企業側、経営者側の意識が低いと感じる。職場の雰囲気により休暇が取りづらいことや女性においても子どもの体調が悪い中すぐに休めない人もいる。そういったことのないような企業側の理解を啓発できるような取組を盛り込んでほしい。

事務局

企業への働きかけに関する取組を計画内に記載している。一般事業主行動計画の策定も引き続き策定していくよう啓発するとしている。

B委員

ゆりかごでの「読み書き指導」は行っていないので削除してほしい。

- 事務局 前回指摘いただいた内容で申し訳ない。削除する。
- C委員 「リーダーシップのもと」、「リーダーシップの確立」と言い回しが異なっている。どちらの意味が正しいのか。
- D委員 竹原市の学校経営においては、教育委員会のビジョンや学校教育ビジョンを基になされている。それに合わせて文を修正していただきたい。
- 事務局 学校教育課と調整の上、修正する。
- C委員 保育所の定員のデータに充足率が100%を超えるところが、という記述があるが、100%ちょうどが1か所で超えているわけではない。違和感がある。また、26年から大乘幼稚園が休園している旨をどこかに記載した方がよいのでは。
- 事務局 データにあわせて、文章を訂正する。大乘幼稚園の休園については、注意書きとして記載する。

(2) その他

- 事務局 特になし
- 会長 全体を通して、何か質問はあるか。
- 副会長 竹原町内の1幼稚園、3保育園における統廃合の進展はどのようになっているか。
- 事務局 “重点プロジェクト1”において記載し、検討を続けている。
- E委員 ある保育所がなくなって統廃合されるということを聞いたが、具体的に示されていない理由はあるのか。

- 事務局 様々に慎重な検討を重ねており、具体的にどの施設がどうなるかということ
は決定していない。竹原については市役所庁舎の移転を含め、施設のあり方
を検討している。保育所も制度改正と合わせながら、みなさんの意見を踏ま
えながら検討を進めたい。
- F委員 企業に働きかけるにあたって、アンケートをとる、現状を調べるなど、実際
の行動としてはどのようになるのか。
国が増税をしないにあたって、財源をここに充てることに関しては大丈夫か。
- 事務局 企業への取組は商工観光室が企業まわりをしており、その際にお願いや啓発
等を行っている。ワークライフバランスに取り組むことも申し伝えている。
消費増税に関わる部分については、年金、医療、子育て、介護のうち子育て
は来年4月から始めることになっており、つなぎ国債を使用することとなる。
10%消費税の財源が回ってくるのは29年度ということとなっている。それま
では段階的にあがっていくこととなる。
- 副会長 すすくくジャパンの国からの資料は各家庭に配布されるか。このダイジェス
ト版をつくるなどしてはどうか。比較的詳しい説明が書いてある。間もなく
県でもダイジェスト版をつくる。それらと合わせて広報を考えていただきた
い。
- 会長 意見をまとめ
- ・ 1点目については、男性の育休、女性の子育て支援のための起業への働きか
けに関する事
 - ・ 2点目は、ゆりかごについても文章修正
 - ・ 3点目は、校長のリーダーシップに関する文章の修正
 - ・ 4点目は、100%を超える保育所の文章修正
 - ・ 5点目は、大乘幼稚園の注意書きの追加
- また、保育所・幼稚園の統廃合の問題や企業に働きかける方法や、消費増税
に関する予算の確保に関して確認していただいた。
- 次回1月下旬に7回目、素案の承認をいただくこととなる。

以上